

令和5年度「電波の日」関東総合通信局長表彰

1 個人:1件

(敬称略:五十音順)

氏名	所属等	功績の概要
きたごう ひろみ 北郷 裕美	法政大学大学院 政策創造研究科 教授	ラジオを地域活性化の情報発信ツールとして活用し、放送大学FM跡地を利用する臨時災害放送局の効果的な開設・運用に関する調査検討会において、災害事例を踏まえた知見を積極的に共有するなど、地域社会におけるラジオの重要性を高め地域活性化の推進に多大な貢献をした。

2 団体:3件

(敬称略:五十音順)

団体名	代表者	功績の概要
埼玉県行田警察署	署長(警視) 石合 龍也	不法無線局が引き起こす混信妨害などの社会的影響を重視し、電波利用秩序を乱す不法無線局を排除するため、電波法令違反者を摘発し、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
一般社団法人 全国陸上無線協会 関東支部	支部長 元田 捷治	多年にわたり陸上関係無線局の運用管理に関する指導支援を行うとともに、無線従事者資格の取得を促進し、無線技術や知識習得に向けた取組みを推進するなど、電波利用秩序の維持向上に多大な貢献をした。
一般社団法人日本コミュニティ放送協会 関東地区協議会	会長 (FM小田原株式会社 代表取締役社長) 鈴木 伸幸	ラジオの存在意義を認識し、積極的に被災地支援を行うとともに、地域社会への貢献をテーマとした関東放送シンポジウムの開催への協力や、デジタル時代における臨時災害放送局に関する協力協定の締結など、ラジオによる防災や地域活性化の推進に多大な貢献をした。